

## 令和6年度 中小企業のSDGs経営・電力高騰化対策に関するアンケート調査票

2050年に温室効果ガス排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」社会の実現に向け、法規制の強化、大手企業の資材調達や金融機関・投資家の中小企業(サプライチェーン)に対する方針転換が急速に進んでいます。こうした環境変化を踏まえ、各事業所で消費するエネルギーについても、できる限り化石燃料から再生可能エネルギーへの転換を図ることが推奨され、世界的な潮流であるSDGs経営の観点からも再生可能エネルギーの導入が推奨されるようになりました。FIT(固定価格買取制度)等で売電し収益を得られた時代は終焉を迎え、電力会社による電力料金高騰などが急速にすすんだ昨今では、**初期投資費用を負担することなく再エネ電源を導入して自家消費することで電力コストを節約する**方法が主流になりつつあります。

このアンケートは、各事業所における再生可能エネルギー(特に、太陽光発電)の電力自家消費を最大限進めるために効果的な施策を、自治体、地域金融、商工団体と共に検討することを目的として実施するものであり、アンケート回答者のうち希望者に対しては、初期投資を負担することなく電力料金を節減(「▲電気代削減額」>「返済額」)する**具体的なイニシャルレス導入スキーム**を案内することで地域脱炭素社会の実現を目指すものです。

(Roof Plus 社会還元プログラム メンbers倶楽部の章)



Roof Plus 社会還元プログラムとは、中小企業のSDGs活動支援プロジェクトの総称であり以下の事業から構成されます。

- 1 中小企業のための「自家消費型太陽光導入スキーム」の企画・開発・普及
- 2 自家消費型太陽光が創出する環境価値を換金化し慈善団体等へ一部寄付することで国内SDGs活動を支援する「循環型SDGsドミノスキーム」の企画・開発・運営
- 3 ①②のスキームを活用して裨益型(※1)あるいは地域共生型(※2)となる再エネ普及を具現化し、ローカルSDGsに貢献せんとする企業を評価し、認定資格を付与すると共に、優秀企業の事例公開をもって、広くSDGs経営の在るべき姿を啓蒙し、国内「SDGsドミノ伝播を図るスキーム」の企画・開発・運営

ご回答は、Excel ファイルに記入いただき、ご提出ください。

A. 貴事業所の業種・規模等についてご回答ください。

- (1) 貴事業所の機能（複数機能を有している場合は該当するものを全て選択）
  - ① 本社
  - ② 支社・支店
  - ③ 製造部門
  
- (2) 業種（日本標準産業分類 細分類番号(4桁)と業種名)
  
- (3) 所在地（市区町）
  
- (4) 従業員数
  - ① 1～4人
  - ② 5～9人
  - ③ 10～19人
  - ④ 20～29人
  - ⑤ 30～49人
  - ⑥ 50～99人
  - ⑦ 100～199人
  - ⑧ 200～299人
  - ⑨ 300人以上

**B. 貴事業所の電力消費・電力調達の状況についてご回答ください。**

(1) 年間の購入電力量 (千 kWh)

※ 貴事業所で直近の平均的な1年間に電力会社等から調達したおおよその電力量 (自家消費分・売電分を除く)

(2) 最も多く電力を消費する設備・機器等 (複数回答可)

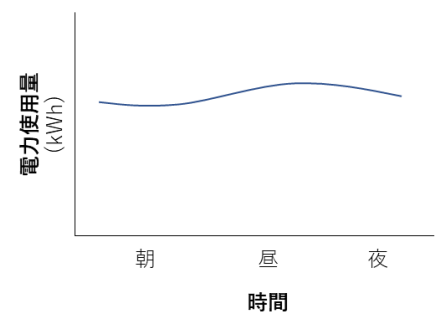
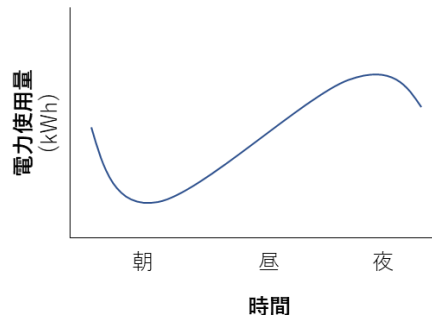
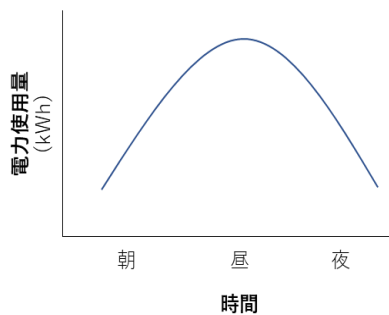
※ コンプレッサ、空調設備など、可能な範囲でできるだけ具体的にご回答ください

(3) 貴事業所の営業日におけるおおよその電力消費のパターン

① 主に日中のみ電力を使用

② 主に夜間のみ電力を使用

③ 日中・夜間ともに電力を使用

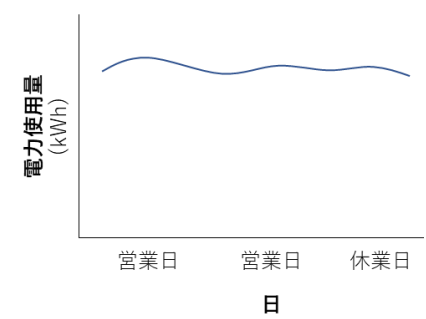
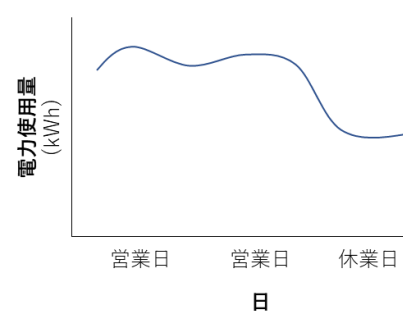
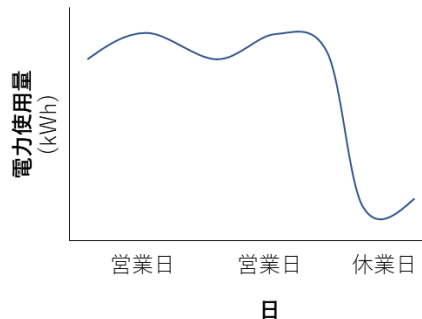


(4) 貴事業所における1週間のおおよその電力消費のパターン

① 主に営業日のみ電力を使用

② 休業日もある程度電力を使用

③ 営業日・休業日問わず使用



(5) 現在契約している電力の契約電力 (kW)

① 50kW 未満 ② 50kW 以上 500kW 未満 ③ 500kW 以上 2000kW 未満 ④ 2000kW 以上 ⑤ わからない

(6) 現在契約している電力の調達単価 (円/kWh)

① 15 円/kWh 未満 ② 15 円/kWh 以上 20 円/kWh 未満 ③ 20 円/kWh 以上 25 円/kWh 未満 ④ 25 円/kWh 以上

※ 基本料金・再生可能エネルギー発電促進賦課金等を含む電力単価 (総調達費用を調達電力量で除したもの)

**C. 貴事業所における太陽光発電の導入可能性についてご回答ください。**

(1) 貴事業所における太陽光発電の導入状況についてご教示ください。(複数回答可)

- ① 既に導入し、発電電力を FIT (固定価格買取制度) で売電している
- ② 既に導入し、発電電力を自家消費している
- ③ 今後、太陽光発電を導入する計画がある
- ④ 太陽光発電を導入する計画はないが、メリットがあれば検討したいと考えている
- ⑤ 太陽光発電を導入する可能性はない

(2) 自家消費型太陽光発電導入にあたり、候補となる貴事業所がハザードマップ地域に該当するかを教えてください。

① 知らない ② ハザードマップの地域に該当する (土砂・洪水・津波) ③ ハザードマップの地域に該当しない

(3) 自家消費型太陽光発電導入にあたり、候補となる貴事業所の建物所有者について教えてください。

① 自家所有 ② 他社からの賃貸 (残賃貸期間をご教示ください)

(3) 貴事業所の建物の屋根についてご教示ください。

(a) 太陽光発電の導入可能性があると思われる屋根の空きスペースについて該当するものを選択してください。

① 25m プール (375 m<sup>2</sup>) 程度の面積 ② 50m プール (750 m<sup>2</sup>) 程度の面積 ③ それ以上の面積 ④ 該当なし

(b) 太陽光発電の導入可能性があると思われる屋根の材質について、該当するものを選択してください。

① スレート屋根 ② 折半屋根 (金属) ③ 陸屋根 ④ トタン屋根 ⑤ その他

(c) 太陽光発電の導入可能性があると思われる屋根の建築後年数について、該当するものを選択してください。

① 新築 ② 築10年未満 ③ 築10年～20年未満 ④ 築20年超(構造補強歴あり)ある場合は補強年度( )  
⑤ 築20年超～

(d) 太陽光発電の導入可能性があると思われる屋根の状態について、該当するものを選択してください。

① 定期的に補修している ② 構造上、または腐食・雨漏り等の不安がある ③ 該当なし

(4) 貴事業所における建物屋根以外のスペースについてご教示ください。

(a) 駐車場に太陽光発電付きのカーポートを導入することについて、該当するものを選択してください。

① 検討している ② メリットがあれば検討したい ③ 導入できる場所がない ④ 該当なし

(b) 貴事業所が所有・管理する施設屋根に太陽光発電を含む再生可能エネルギー発電設備を導入することについて、該当するものを選択してください。

① 検討している ② メリットがあれば検討したい ③ 導入できる場所がない ④ 該当なし

→①②を選択した場合：導入の可能性のある土地 事業所敷地内/敷地外の県内/県外

(5) 自家消費型太陽光導入に伴い設備代相当分が「100%損金算入」される中小企業経営強化税制について御社のお考えを教えてください。

① 100%償却制度に非常に興味がある ② 電気料金が現在より安くなるのであれば制度を活用したい

③ 現在の電気料金とほぼ同じであれば制度を活用したい ④ 節税には興味がない

⑤ 100%償却制度を知らなかった。

D. 貴事業所における脱炭素社会への取り組み ローカル SDGs へのご興味についてご回答ください。

(1) 自家消費型太陽光の設置を検討する際、ローカル SDGs への貢献(※例)についても意識するか、該当するものを全て選択してください。

(※例 ローカル SDGs の実践策)

自家消費型太陽光を設置した自社施設を、大規模災害時における地域住民の為の無償給電スポットとして地域に開放することで、裨益型・地域共生型社会の実現に貢献する。

- ① 自家消費型太陽光の導入が、ローカル SDGs に貢献できることを知らなかった。
- ② 自家消費型太陽光の導入は検討したいが、災害時とはいえ地域住民に開放するのは懸念がある。
- ③ 自家消費型太陽光の導入と、ローカル SDGs 経営とは別物と認識している。
- ④ ローカル SDGs の実践策として興味はあるが、電気代の削減効果がある場合のみ導入を検討したい
- ⑤ ローカル SDGs の実践策として興味はあるが、イニシャルコストの負担が懸念である
- ⑥ ローカル SDGs の実践策でもあり、イニシャルコストの負担なく自家消費型太陽光を導入できるスキームがあれば導入したい
- ⑦ ローカル SDGs の実践策として公的機関等からの評価、地域への公開制度があれば、取組んでみたい。
- ⑧ 自家消費型太陽光の取得価格相当が即時 100%償却できる制度を知らなかった
- ⑨ 自家消費型太陽光の取得価格相当が即時 100%償却できる制度を活用できるのであれば、ローカル SDGs の実践策を検討したい。
- ⑩ イニシャルコストの負担なく自家消費型太陽光を導入できるスキームを活用し、即時 100%償却できる制度を活用できるのであれば、ローカル SDGs の実践を検討したい。
- ⑪ ローカル SDGs に貢献できるのであれば、自家消費型太陽光の導入を検討したい
- ⑫ その他 (自由記述)

(2) この目標を達成するためには再生可能エネルギーの導入を最大限に進める必要があり、各事業所の協力が不可欠です。もし以下の内容に取り組むことで貴事業所にメリットがあれば、どの取組であれば検討したいと思いますか? 該当するものを全て選択してください。

- ① 自社施設(駐車場合む) 屋根上等への太陽光発電設備の設置(自己資金投資)
- ② 自社施設(駐車場合む) 屋根上等への太陽光発電設備の設置(費用負担ゼロスキーム利用)
- ③ 自社のローカル SDGs 経営が公的機関等からの評価の対象となる場合、自社施設(駐車場合む) 屋根上等への太陽光発電設備の設置(自己資金投資)
- ④ 自社のローカル SDGs 経営が公的機関等からの評価の対象となる場合、自社施設(駐車場合む) 屋根上等への太陽光発電設備の設置(費用負担ゼロスキーム利用)

アンケートは以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

社名	
所在地	〒
代表者名	
担当者部署名	
(フリガナ) 担当者名	
連絡先 携帯 No (メール)	

